

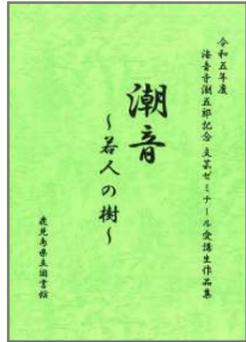


県図だより

鹿児島県立図書館

ホットニュース

海音寺潮五郎記念文芸ゼミナールの紹介



作品集『潮音』(R5)

当館では、鹿児島が生んだ偉大な作家、海音寺潮五郎先生の文業とその功績を讃え、後代に伝えるとともに、文化振興のための学習機会を高校生に提供する目的で、平成26年度から「海音寺潮五郎記念文芸ゼミナール」を開講しています。本年度は、奄美大島、種子島からのオンライン受講を含む、県内からの11人の高校生が参加しました。

本ゼミナールは、全8回の講座で、講師には、県内で執筆活動をされている作家の立石富男先生と出水沢藍子先生に指導していただいています。また、10月には、海音寺潮五郎記念文化講演会の講演と併せて、直木賞作家の垣根涼介先生との交流会を実施しました。先生方の愛情あふれる指導の下、受講生同士で意見を交わしながら、作品を完成させることができました。高校生が執筆した作品は、作品集『潮音～若人の樹～』として、県立図書館の蔵書となるとともに当館のHPからも閲覧することができます。高校生のみずみずしい作品を是非、御一読ください(本年度の作品集『潮音』は3月下旬ごろHP掲載予定です)。

図書館で探そう、調べよう! むかしの遊び 手作りの凧

児童文化室は大人の方も利用されます。例えば、幼稚園や学校の先生が読み聞かせの本や大型絵本・エプロンシアター等を借りに来られます。子供の頃に読んだ本を読み返したいと借りに来られる方もいます。また、調べものをする場合も「児童向けの資料は分かりやすい表現で書かれていて、図や写真なども多いから」という理由で、児童向けの資料を探しに来られる方も多くいらっしゃいます。ある日、年配の方が、凧の作り方の本を探しに来られました。7類に工芸・工作の書架から『親子でつくるたこの本 たこあがるかな』(秋山 幸雄/作, 三枝 祥子/絵), 『やってみようむかしのあそび4 たこあげ』(ポプラ社)をお渡ししました。中身を確認された後「昔の新聞記事に載った本が県立図書館にあると聞いたのですが」と言われ、記事を取り出されました。凧の写真のみで、本についての情報は書かれていません。昔の記事ということで、出版年が古い資料を検索しました。書庫に凧づくりに関する本が数冊ありました。中には著者の違う同名の本も見つかりました。中身を確認したところ、記事と同じ写真が掲載されている『凧をつくる』(広井 力/著 大月書店 1990年)をお渡しすることができました。中には完成写真と材料のサイズ、作り方などが図示されていました。きっと、手作りの凧が2025年の新春の空を舞ったことでしょう。

皆様の資料探しのお手伝いをいたしますので、児童文化室も御利用ください。お気軽にカウンターの職員にお問い合わせください。

《一般図書》 2月14日(金) 新着図書案内 《児童図書》 2月23日(日)

- 紫式部の「ことば」たち
源氏物語と引用のコラージュ
中西 智子/著 平凡社
- スクリーンのなかの障害
わかりあうことが隠すもの
埴 幸枝/著 フィルムアート社
- 買い物の科学
消費者行動と広告をめぐる心理学
越智 啓太/著 実務教育出版

- たすひくねことひよこ団
にわ/さく, 大迫 ちあき/監修
マイクロマガジン社
- のはらうた絵本
工藤 直子/詩, あべ 弘士/画 童話屋
- 江戸を照らせ 葛屋重三郎の挑戦
小前 亮/作, 中島 花野/画 小峰書店



左の二次元コードから今月の新着資料のすべてを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書種別が選べます。お探しの分類(歴史, 文学全般 等)をお選びください。

催し物の御案内



- 貴重資料の紹介展
期間: 1月17日(金)~2月21日(金)
場所: 玄関ロビー
『天文館界限今昔~史料が伝えるまちの息吹~』皆様の御来場をお待ちしております。
- 一般閲覧室ミニ展示
3月1日(土)~3月30日(日)
「本好きのあなたのために」
「図書館」や「本」に関する本を集めました。本の世界をディープに味わいましょう。
- 児童文化室ミニ展示
2月23日(日)~3月22日(土)
「春をさがす」
少しずつ近づく春。春はどこにあるのかな? 春をイメージする本を集めました。

職員のつぶやき

話題の本『なぜ働いていると本がよめなくなるのか』(三宅 香帆/著 集英社 2024年)を最近読み終わりました。
この本は、労働と読書の歴史、日本人の仕事と読書の在り方の変遷などから、日本の労働の問題点を明らかにしていました。このように書くこと難しく感じるかもしれませんが、具体的な例をあげてわかりやすく説明されていました。参考文献の本も読みたくなったので、県立図書館の「利用者ポータル」を使って予約すると、700ページ越えの本だとわかり、仰天しました。その本の名は、『独学大全』(読書猿/著ダイヤモンド社 2020年)です。こちらはまだ読み終わっていません……。
『なぜ働いていると本がよめなくなるのか』から得たヒントを胸に、「今年こそは、自宅の床に置かれたままの積ん読本たちを読破させる!」と新年の決意を新たにしました。

わが家・わたしの「宝本」

今回紹介していただいた宝本は、宗正 美子/原案, いもと ようこ/文・絵の『しゅくだい』(岩崎書店)です。

息子が小学校入学まで1年をきった今年の初夏に借りた本です。小学校に向けてクリアしなければならない事がたくさんあるように思い、年中さんのときよりも息子に厳しくしてしまいました。そんな時、『しゅくだい』というタイトルが目にとまり、「宿題」を教える上でいいかもと思い借りました。家に帰ってから息子と読むと、絵本の中での宿題は“おうちの方にギュッとしてもらうこと”だったのです。動物たちが恥ずかしながらも、おうちの人に抱きしめてもらっている様子が描かれていて、息子も涙ぐんでいました。まだまだ甘えたい年頃なんだと気付いた瞬間でした。



子育ては親の思うようにはいかないし、親の理想が正しいとは限らず……。でも、わたしのやり方で楽しみたいです。(園児の保護者)

児童文化室から

にじいろのほん『ちいさいおうち』ばーじにあ・リー・ばーとん/ぶん・え, いいももこ/やく(岩崎書店)からのクイズです。

はるがくると みなみのくにから
かえってくる どうぶつは?
①りす ②とり ③きつね

ヒント

そらを とべるよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、3月14日(金)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「③がけ」でした。たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2月	16	17	18	19★	20	21	22
3月	23	24	25	26★	27	28	1
3月	2	3	4	5★	6	7	8
3月	9	10	11	12★	13	14	15◆

開館時間 火曜日~土曜: 9時~21時
日曜日・祝日(白抜): 9時~17時

- は、休館日、白抜は午前9時~午後5時
- ★は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分~16時)
- ◆は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時~)
- ◇は、一般閲覧室新着図書の日(2月28日, 3月14日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(2月23日)

カバー、ページ破れ等の破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。